

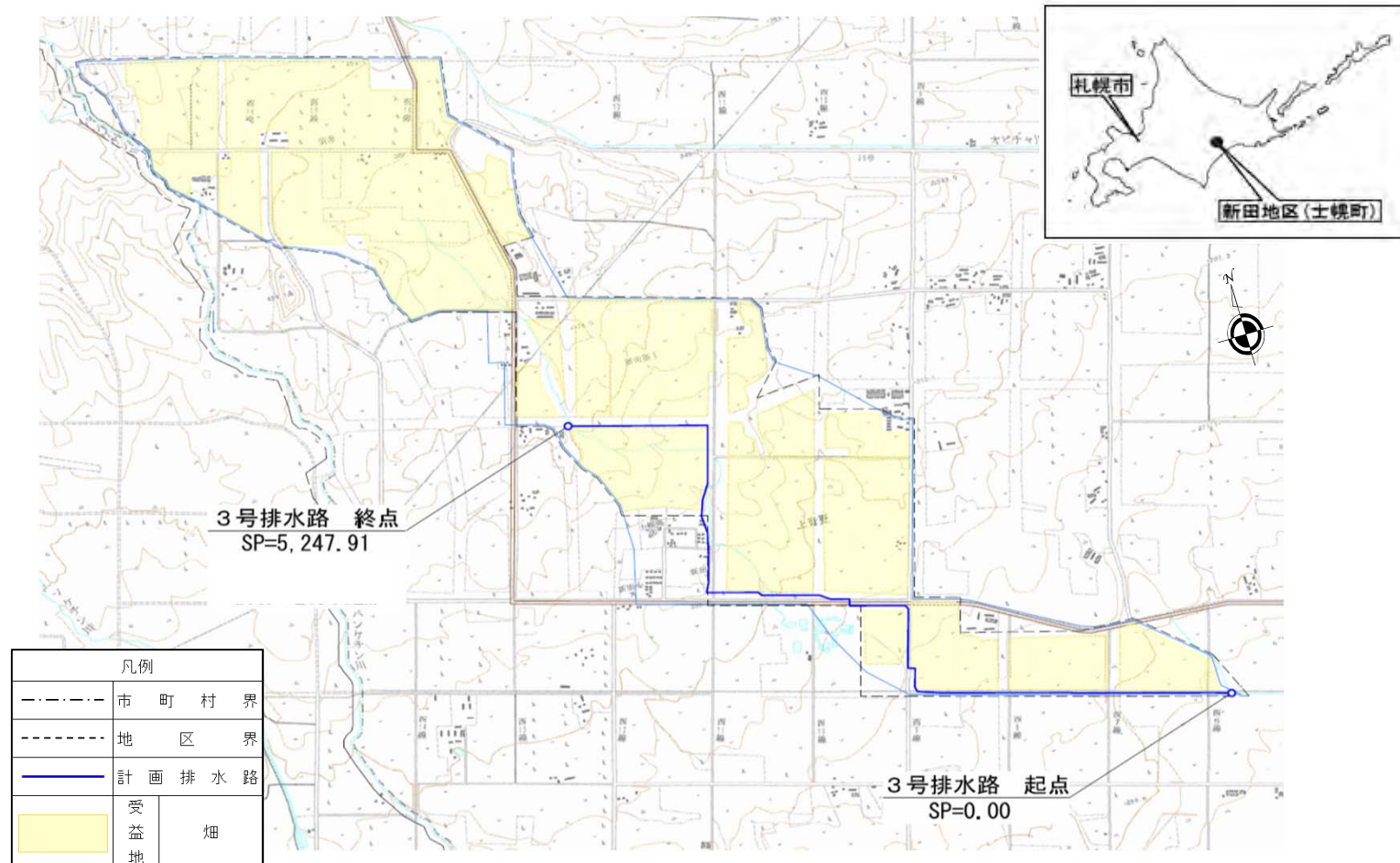
地区別事業概要

事業名	水利施設等保全高度化事業		地区名	新田 ^{にった}
関係市町村	北海道 ^{かとうぐんし} 河東郡士幌町 ^{ほろちよう}		事業主体	北海道
事業目的	本地区は、北海道士幌町の北西部に位置し畑作経営を中心として畑作と酪農が混在した農業経営が行われており、ＪＡ士幌町が自らポテトチップスやフライドポテトなどのばれいしょを中心とした農産物加工による付加価値向上を図るなど、「士幌ブランド」の確立を進めている地域である。 地区内では、過去に道営事業等の土地改良事業で、排水路整備が行われたが、近年では、大雨時に排水路の断面不足から農地の湛水被害が発生し安定した農業経営の妨げとなっている。 このため、本事業により排水路整備を実施し、農地の湿害や湛水被害を解消するとともに農業の生産性向上を図り、本地域の豊かで競争力のある農業の実現に資するものである。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工期
	478ha	21 戸	1,880 百万円	令和４～11 年度
	主要工事	排水路 5 km		
	関連事業	なし		
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	2,338 百万円	2,026 百万円	1.15	総費用総便益方式
概要図	別添のとおり			

出典：新田地区土地改良事業計画概要書（北海道十勝総合振興局調整課作成）

概要図

水利施設等保全高度化事業 新田地区



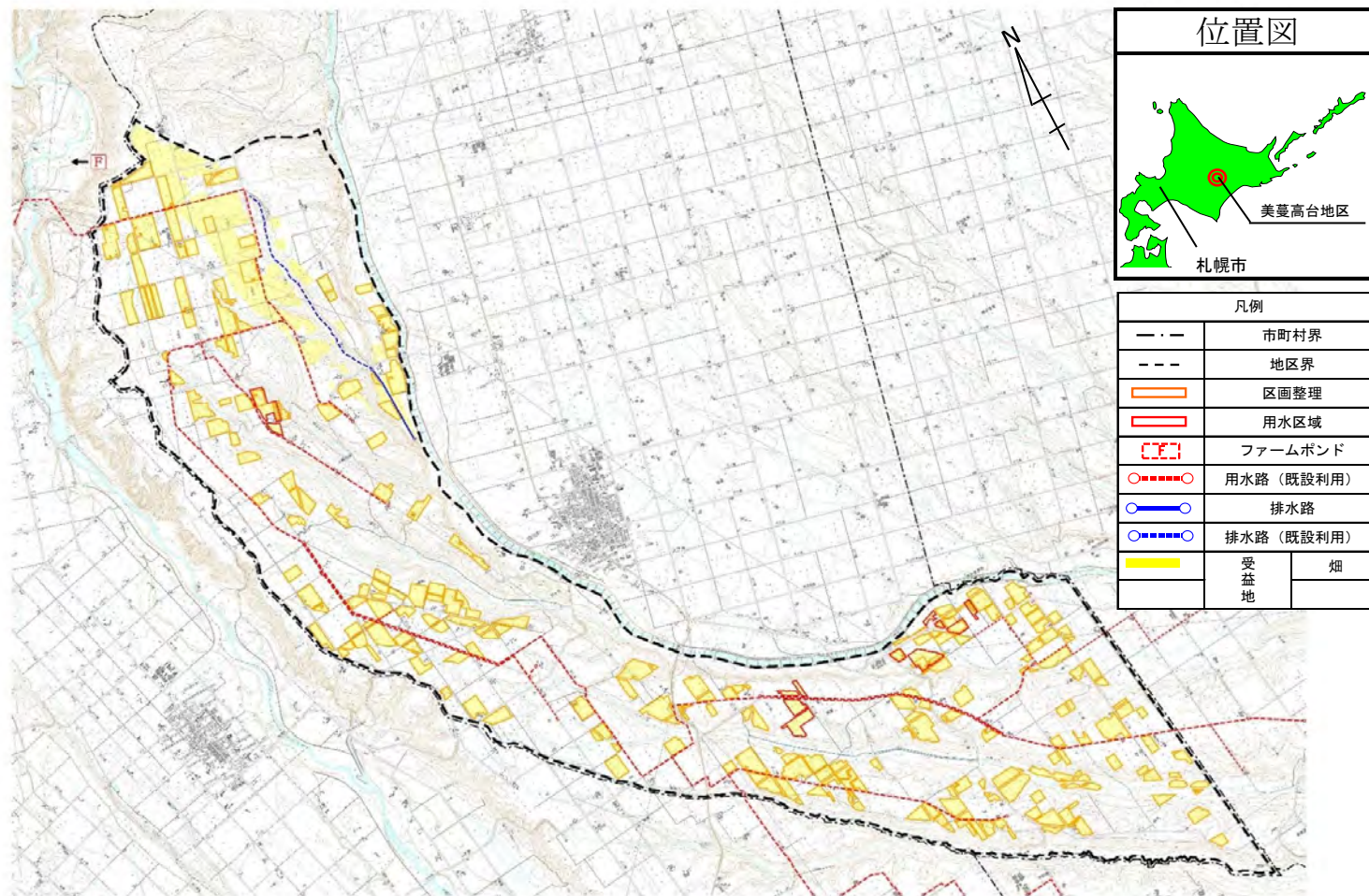
地区別事業概要

事業名	水利施設等保全高度化事業		地区名	びまんたかだい 美蔓高台
関係市町村	北海道河東郡鹿追町 かとうぐんしかおいちょう		事業主体	北海道
事業目的	本地区は、北海道鹿追町の南西部に位置し、小麦、ばれいしょ、てんさい、豆類の畑作4品目の他、キャベツ、スイートコーン等の野菜類を組み合わせた営農が展開されている。 本地区では、平成23年から道営畑地帯総合整備事業が実施されているが、未だに起伏のあるほ場や排水不良、石礫のあるほ場が点在し、農作業の効率化に影響を及ぼしているほか、畑地かんがい施設の未整備ほ場については、干ばつへの対応ができないため、農作物の生産に支障が出ている。 また、排水路の能力不足を起因とした湿害も発生しており、農作物の生産が阻害されている。 このため、本事業により農業用排水施設、区画整理を総合的に整備することで、生産性が高く高機能の優良農地を確保し、農業の生産性の向上を図り、本地域の豊かで競争力ある農業の実現に資するものである。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工期
	1,336ha	59戸	2,545百万円	令和4～12年度
	主要工事	畑地かんがい 68ha 用排水路 1km 区画整理 1,122ha		
	関連事業	なし		
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	5,966百万円	3,293百万円	1.81	総費用総便益方式
概要図	別添のとおり			

出典：美蔓高台地区土地改良事業計画概要書（北海道十勝総合振興局調整課作成）

概 要 図

水利施設等保全高度化事業 美蔓高台地区



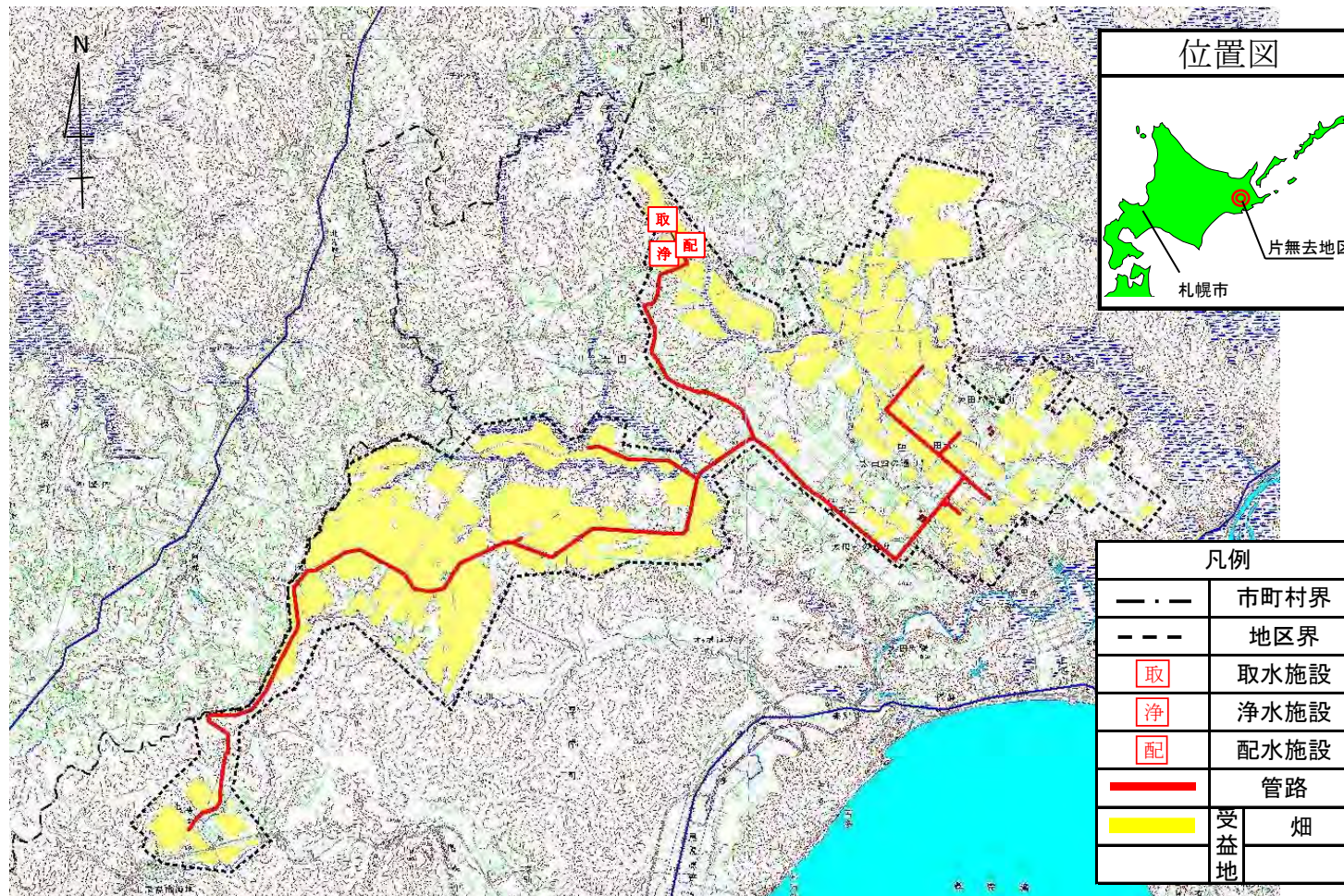
地区別事業概要

事業名	水利施設等保全高度化事業		地区名	かたむさり 片無去
関係市町村	北海道 あつけしぐんあつけしちょう 厚岸郡厚岸町		事業主体	北海道
事業目的	本地区は、北海道厚岸郡厚岸町の北西部に位置し、冷涼で広大な土地条件を活用した酪農業が営農の中心となっている。 本地区の営農用水施設は、昭和 48 年度の道営畑地帯総合整備事業、昭和 49 年度の道営開拓地整備事業により整備されているが、近年の気象形態の変化により取水施設へ土砂や流木の流入により取水制限が発生し、また施設の老朽化による漏水から水不足が発生し、良質な営農用水の確保に苦慮している。 このため、本事業により営農用水施設を総合的に整備することで営農用水の安定供給を図り、本地域の農業競争力の強化を図るものである。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工 期
	3,600ha	33 戸	4,600 百万円	令和 4 ～12 年度
	主要工事	取水施設 1 式、導水管路 1 km、 浄水施設 1 式、配水施設 1 式、 配水管路 34km、管理施設 1 式		
	関連事業	なし		
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	6,691 百万円	4,119 百万円	1.62	総費用総便益方式
概 要 図	別添のとおり			

出典：片無去地区土地改良事業計画概要書（北海道釧路総合振興局農村振興課作成）

概 要 図

水利施設等保全高度化事業 片無去地区



地区別事業概要

事業名	水利施設等保全高度化事業		地区名	若
関係市町村	茨城県結城郡八千代町		事業主体	茨城県
事業目的	本地区は、茨城県八千代町の中央に位置し、国道 125 号線の南、県道若境線の東側に広がる平坦な畑地帯及び水田地帯であり、首都圏を中心とした消費地への野菜供給地として、白菜、キャベツ、レタス、ネギ、メロン等の露地野菜が生産される重要な地域となっている。 本地区の道路は狭隘であり、また排水不良で面積の小さい不整形な区画が多く、そのため大型機械化・省力化が図れず、農作物の生産効率が低く、営農上多大な労力を費やし、需要に応じた農作物の安定生産に影響を及ぼしている。 このため、本事業を実施し、区画形状や道路、排水路、用水施設を整備し、霞ヶ浦用水による畑地かんがいを導入し、効率的かつ計画的・安定的な農業の実現、本地域の畑作物の生産振興及び畑作経営の改善・安定を図る。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工期
	74ha	231 戸	2,431 百万円	令和 4 ～11 年度
	主要工事	区画整理 56ha 農業用排水施設 畑地かんがい 39ha 農道 2 km		
	関連事業	国営農業水利事業 鬼怒川南部地区 国営農業水利事業 霞ヶ浦用水Ⅰ期地区 国営農業水利事業 霞ヶ浦用水Ⅱ期地区		
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	3,153 百万円	2,423 百万円	1.30	総費用総便益方式
概要図	別添のとおり			

出典：若地区土地改良事業計画概要書（茨城県農林水産部農村計画課作成）

